

## 取扱いの趣旨

甲状腺ホルモン検査のT3とFT3の総量及びT4とFT4の総量は概ね相関して増減することから、TBG異常症等の特定の場合を除き、T3とFT3の併施又はT4とFT4の併施は原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】

《平成17年4月25日》

9 T3、FT3、T4、FT4（併施）

### ○ 取扱い

原則として、T3とFT3、T4とFT4の併施は認められない。T3およびT4、あるいはFT3およびFT4の組み合わせによる併施は認められる。

### ○ 取扱いを定めた理由

日常の臨床の場で、甲状腺ホルモンの動向をみるためには、特定の場合を除き総甲状腺ホルモンT3、T4の測定によってのみでも可能であるが、総甲状腺ホルモン（T3やT4）は、血中ではその大部分が蛋白（TBG等）と結合した形で存在しており、実際の生体での作用は遊離系のfreeT3（FT3）、freeT4（FT4）濃度によって決定されることから、病態の把握には遊離ホルモンの測定がより有用となる。また、甲状腺ホルモンの総量と遊離系ホルモン量とは概ね相関して増減することから、特定の場合を除き、甲状腺ホルモンの測定は、その遊離系ホルモン量あるいは甲状腺ホルモン総量測定のいずれかによることが望ましい。

### ○ 留意事項

まれに、TBG異常症等でT3・T4とFT3・FT4との間に乖離（かいり）が見られることがあり、臨床的にそのようなことが想定されT3とFT3、T4とFT4の併施測定の医学的必要性が認められる場合に限り認められる。

## 初回検証から早期確認を経た1年後検証の改善状況及び今後の対応

### 全都道府県改善

1年後検証終了時点の改善都道府県数

47

#### ■都道府県の改善状況

初回検証の未改善都道府県数	早期確認の未改善都道府県数	1年後検証の未改善都道府県数
8	4	0

#### ■誤り件数の改善状況

要因別	初回検証の誤り件数/年	早期確認の誤り件数 /3か月（年換算）	改善率	1年後検証の誤り件数 /6か月（年換算）	改善率
職員	109	4（16）	85.3%	0（0）	100.0%
審査委員	21	2（8）	61.9%	0（0）	100.0%
合計	130	6（24）	81.5%	0（0）	100.0%

#### ■1年後検証で改善（※少数事例に該当する都道府県含む）した都道府県：8

埼玉、東京、神奈川、岐阜、愛知、大阪、兵庫、福岡

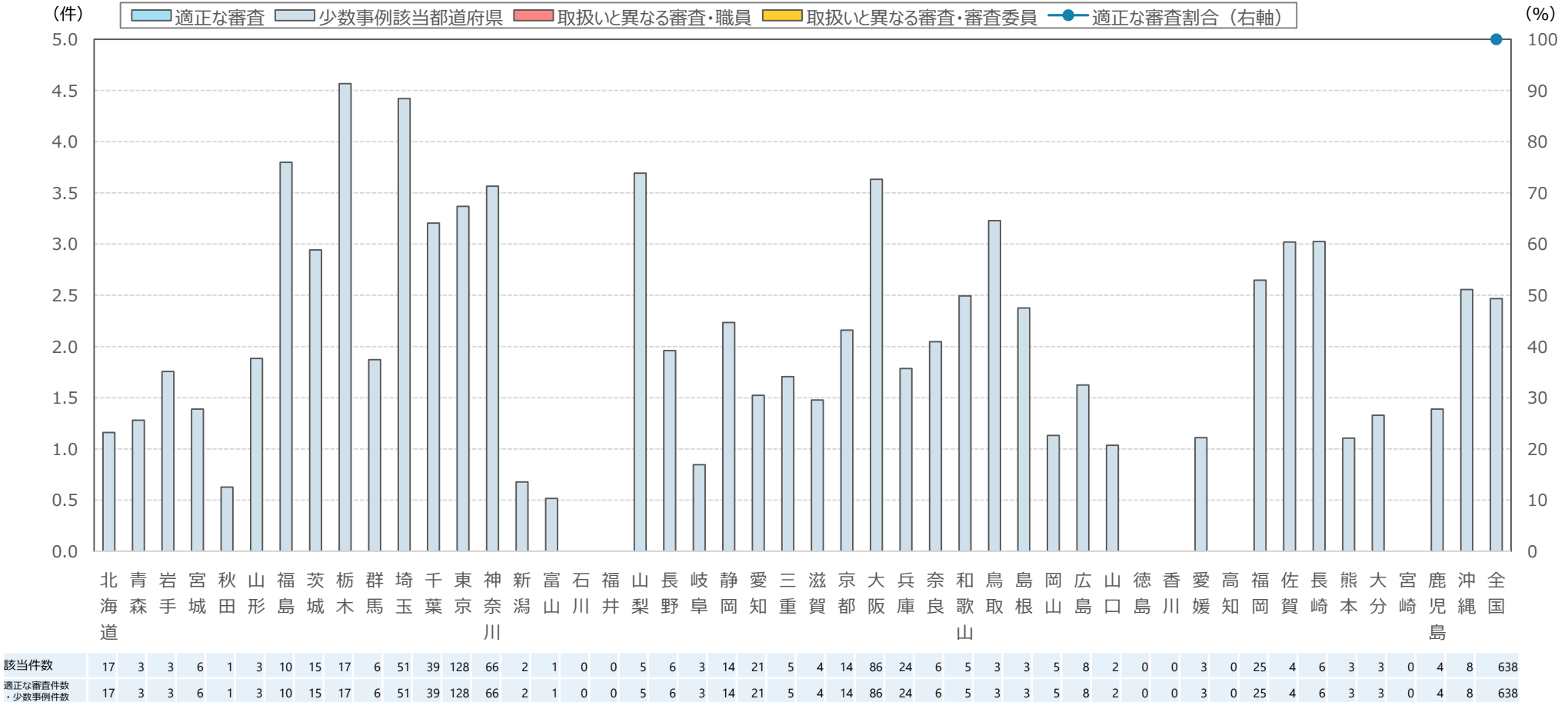
※少数事例は取扱いと異なる審査が年間10件未満(今回の検証は6ヶ月間の数値のため、4件以下)かつ、取扱いと異なる審査の割合が1割未満の都道府県

・全都道府県が適正な審査に改善 ⇒対応なし

グラフの見方

2022年10月～2023年3月審査分

- 1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）  
T3、FT3、T4、FT4のいずれかを算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（T3とFT3又はT4とFT4を同日に算定）に該当するレセプト件数
- 2 折れ線グラフ  
適正な審査割合：100.00%（少数事例該当都道府県を含む取扱いと異なる審査割合：0.00%）
- 3 少数事例該当都道府県は初回検証結果又は1年後検証の検証前データより、取扱いと異なる審査が年間10件未満（フォローアップ検証は6ヶ月間の数値のため、4件以下）かつ、取扱いと異なる審査の割合が1割未満となった都道府県（検証対象外都道府県）



【該当件数】 T3とFT3又はT4とFT4を同日に算定しているレセプト件数

該当件数に対する検証結果

2022年10月～2023年3月審査分

検証の結果、該当件数638件のうち、取扱いと異なる審査が0件（0.00%）

都道府県		検証結果												都道府県		検証結果											
		該当件数	取扱いに基づく適正な審査							取扱いと異なる審査 (ＣＣ解除等の誤処理)						該当件数	取扱いに基づく適正な審査							取扱いと異なる審査 (ＣＣ解除等の誤処理)			
		計	適正 審査 合計	少数事例 該当都道 府県の 該当件数	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員			計	適正 審査 合計	少数事例 該当都道 府県の 該当件数	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
査定	返戻					査定 返戻 計	査定	返戻						査定 返戻 計	詳記等 から適正												
01	北海道	17	0	17										25	滋賀	4	0	4									
02	青森	3	0	3										26	京都	14	0	14									
03	岩手	3	0	3										27	大阪	86	0	86									
04	宮城	6	0	6										28	兵庫	24	0	24									
05	秋田	1	0	1										29	奈良	6	0	6									
06	山形	3	0	3										30	和歌山	5	0	5									
07	福島	10	0	10										31	鳥取	3	0	3									
08	茨城	15	0	15										32	島根	3	0	3									
09	栃木	17	0	17										33	岡山	5	0	5									
10	群馬	6	0	6										34	広島	8	0	8									
11	埼玉	51	0	51										35	山口	2	0	2									
12	千葉	39	0	39										36	徳島	-	-	-									
13	東京	128	0	128										37	香川	-	-	-									
14	神奈川	66	0	66										38	愛媛	3	0	3									
15	新潟	2	0	2										39	高知	-	-	-									
16	富山	1	0	1										40	福岡	25	0	25									
17	石川	-	-	-										41	佐賀	4	0	4									
18	福井	-	-	-										42	長崎	6	0	6									
19	山梨	5	0	5										43	熊本	3	0	3									
20	長野	6	0	6										44	大分	3	0	3									
21	岐阜	3	0	3										45	宮崎	-	-	-									
22	静岡	14	0	14										46	鹿児島	4	0	4									
23	愛知	21	0	21										47	沖縄	8	0	8									
24	三重	5	0	5										全国	638	0	638	100.00%	0	0	0	0	0	0.00%	0	0	

※都道府県の数値全てをグレーで網掛けした都道府県は1年後検証終了時点の改善都道府県  
※少数事例該当都道府県の該当件数は初回検証の結果又は1年後検証の検証前データより、取扱いと異なる審査が年間10件未満（フォローアップ検証は6ヶ月間の数値のため、4件以下）かつ、取扱いと異なる審査の割合が1割未満となった都道府県の該当件数（検証対象の都道府県は0を記載）

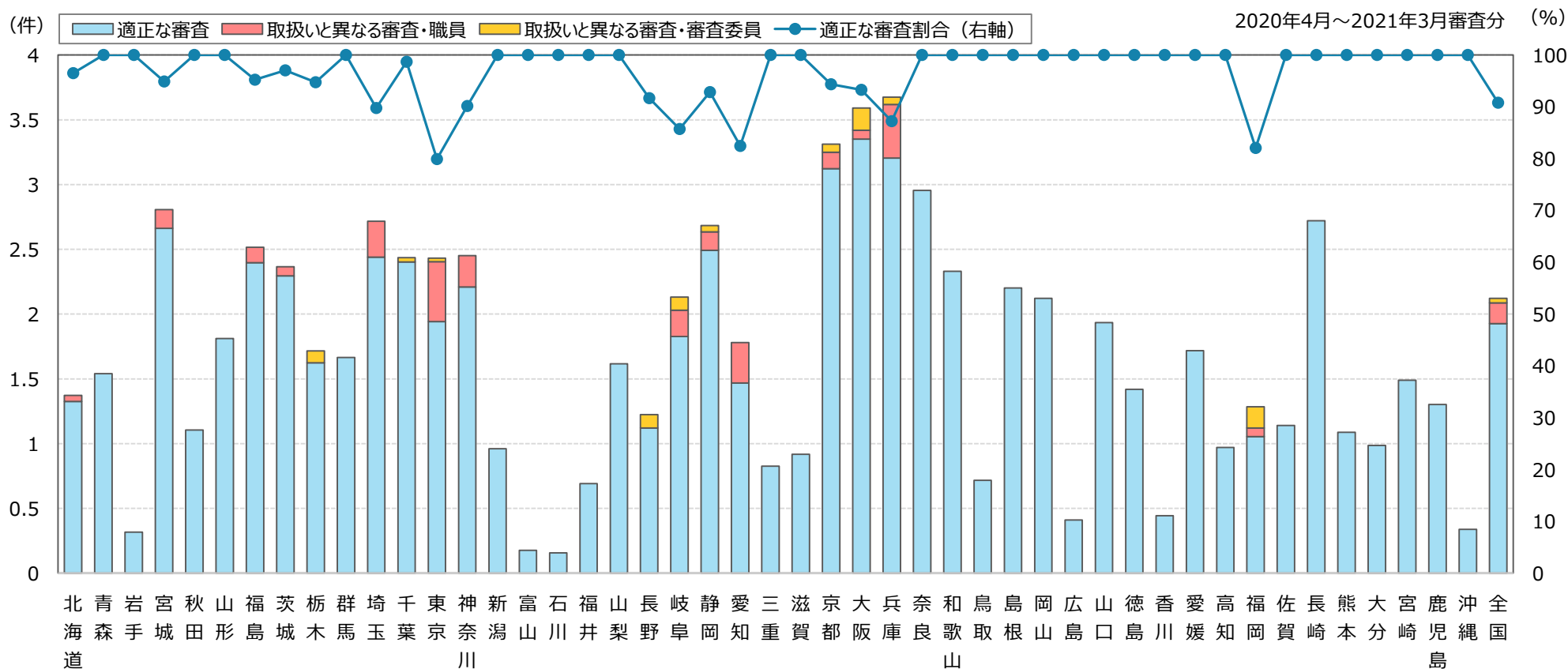
## グラフの見方

### 1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

T3、FT3、T4、FT4のいずれかを算定しているレセプト1万件当たり、条件（T3とFT3又はT4とFT4を同日に算定）に該当するレセプト件数

### 2 折れ線グラフ

検証の結果、適正な審査をしている割合（全国 90.81%）



【該当件数】 T3とFT3又はT4とFT4を同日に算定しているレセプト件数

## 該当件数に対する検証結果

2020年4月～2021年3月審査分

検証の結果、該当件数1,589件のうち、**1,443件（90.81%）が適正な審査結果（検証前は89.49%）**  
**CCの解除等による誤処理が146件（9.19%）**

⇒概評：請求どおり（167件）を検証の結果、適正審査と確認されたレセプトは傷病名やコメントから、TBG異常症等により双方の検査を必要とした事例であった。

支部	検証結果										
	該当件数 計	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （C C解除等の誤処理）			
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり 詳記等から 適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
				査定	返戻	査定 返戻 計					
01 北海道	57	55	96.49%	55	0	55	0	2	3.51%	2	0
02 青森	11	11	100.00%	10	1	11	0	0	0.00%	0	0
03 岩手	2	2	100.00%	2	0	2	0	0	0.00%	0	0
04 宮城	39	37	94.87%	27	1	28	9	2	5.13%	2	0
05 秋田	6	6	100.00%	6	0	6	0	0	0.00%	0	0
06 山形	10	10	100.00%	9	1	10	0	0	0.00%	0	0
07 福島	21	20	95.24%	20	0	20	0	1	4.76%	1	0
08 茨城	34	33	97.06%	32	0	32	1	1	2.94%	1	0
09 栃木	19	18	94.74%	18	0	18	0	1	5.26%	0	1
10 群馬	17	17	100.00%	16	1	17	0	0	0.00%	0	0
11 埼玉	88	79	89.77%	75	4	79	0	9	10.23%	9	0
12 千葉	76	75	98.68%	67	3	70	5	1	1.32%	0	1
13 東京	274	219	79.93%	218	1	219	0	55	20.07%	52	3
14 神奈川	122	110	90.16%	105	1	106	4	12	9.84%	12	0
15 新潟	10	10	100.00%	10	0	10	0	0	0.00%	0	0
16 富山	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
17 石川	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
18 福井	3	3	100.00%	3	0	3	0	0	0.00%	0	0
19 山梨	6	6	100.00%	6	0	6	0	0	0.00%	0	0
20 長野	12	11	91.67%	11	0	11	0	1	8.33%	0	1
21 岐阜	21	18	85.71%	18	0	18	0	3	14.29%	2	1
22 静岡	56	52	92.86%	51	1	52	0	4	7.14%	3	1
23 愛知	74	61	82.43%	61	0	61	0	13	17.57%	13	0
24 三重	7	7	100.00%	6	1	7	0	0	0.00%	0	0

支部	検証結果										
	該当件数 計	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （C C解除等の誤処理）			
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり 詳記等から 適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
				査定	返戻	査定 返戻 計					
25 滋賀	7	7	100.00%	7	0	7	0	0	0.00%	0	0
26 京都	53	50	94.34%	50	0	50	0	3	5.66%	2	1
27 大阪	209	195	93.30%	195	0	195	0	14	6.70%	4	10
28 兵庫	133	116	87.22%	114	2	116	0	17	12.78%	15	2
29 奈良	22	22	100.00%	22	0	22	0	0	0.00%	0	0
30 和歌山	12	12	100.00%	12	0	12	0	0	0.00%	0	0
31 鳥取	2	2	100.00%	2	0	2	0	0	0.00%	0	0
32 島根	10	10	100.00%	10	0	10	0	0	0.00%	0	0
33 岡山	26	26	100.00%	26	0	26	0	0	0.00%	0	0
34 広島	7	7	100.00%	7	0	7	0	0	0.00%	0	0
35 山口	12	12	100.00%	11	0	11	1	0	0.00%	0	0
36 徳島	6	6	100.00%	5	1	6	0	0	0.00%	0	0
37 香川	3	3	100.00%	3	0	3	0	0	0.00%	0	0
38 愛媛	14	14	100.00%	14	0	14	0	0	0.00%	0	0
39 高知	4	4	100.00%	4	0	4	0	0	0.00%	0	0
40 福岡	39	32	82.05%	32	0	32	0	7	17.95%	2	5
41 佐賀	5	5	100.00%	4	1	5	0	0	0.00%	0	0
42 長崎	17	17	100.00%	15	1	16	1	0	0.00%	0	0
43 熊本	10	10	100.00%	10	0	10	0	0	0.00%	0	0
44 大分	7	7	100.00%	7	0	7	0	0	0.00%	0	0
45 宮崎	9	9	100.00%	9	0	9	0	0	0.00%	0	0
46 鹿児島	12	12	100.00%	12	0	12	0	0	0.00%	0	0
47 沖縄	3	3	100.00%	3	0	3	0	0	0.00%	0	0
全国	1,589	1,443	90.81%	1,402	20	1,422	21	146	9.19%	120	26